

教科(科目)	国語	総時数	140 時間	学年(コース)	1 学年
使用教科書	国語1（光村図書）				
副教材等	『中学必修テキスト』、『漢字ノート』				

### 1 学習目標

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
- ・言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

### 2 指導の重点

- ① 課題解決のために対話活動を取り入れ、主体的に探求する態度と能力を育てる。
- ② 作文やスピーチなどの表現活動を充実させることで、自分の考えを表現する力を育てる。
- ③ 日々の漢字や語句の学習を継続することで、語彙を豊かにするとともに、漢字検定4級の取得を目指す。

### 3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	言葉に出会うために	学習ガイダンス 朝のリレー 野原はうたう	・国語を学ぶ意義、学習の仕方を理解する。 ・詩の音読を通して言語感覚を豊かにする。	4	授業態度
5	1 学びをひらく	シンジュン 漢字の組み立てと部首	・小説を読み、場面の展開の仕方を捉える。	16	授業中の活動 ワークシート 定期考査
6	2 新しい視点で	ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 主張文を書く 文法への扉1	・説明文を読み、段落の役割や文章の構成を捉える。 ・主張文を書き、その発表をする。	16	授業中の活動 ワークシート 定期考査
7	3 言葉に立ちどまる	詩の世界 比喩で広がる言葉の世界 指示する語句と接続する語句	・詩を読み、表現の効果を読み取り、表現を工夫しながら詩を創作する。 ・説明文を読み、文章の要旨をまとめる。	14	授業中の活動 ワークシート 定期考査
8	読書生活の豊かに	読書を楽しむ	・小説を読むことを通して、自分の考えをもつ。	4	授業中の活動 ワークシート 定期考査
9	4 心の動き	大人になれなかった弟たちに…… 星の花が降るころに 方言と共通語 漢字の音訓	・小説を読み、描写を捉えるとともに、複数の表現を結び付けて読み深める。	14	授業中の活動 ワークシート 定期考査
10	5 筋道を立てて	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 大阿蘇	・記録文を読み、文章の構成と展開を捉える。 ・詩を読んで、表現の効果を考える。	14	授業中の活動 ワークシート 定期考査
11	6 いにしへの心にふれる	いろは歌 古典の世界 蓬莱の玉の枝 今に生きる言葉	・古文を読んで、登場人物の関係を捉える。 ・古人の思いに触れ、自分の考えをもつ。	16	授業中の活動 ワークシート 定期考査
12	7 価値を見出す	「不便」の価値を見つめ直す 文法への扉2	・意見文を読み、目的に応じて要約するとともに、自分の考えをもつ。	12	授業中の活動 ワークシート 定期考査
1	読書に親しむ	考える人になろう	・読書を通して、自分の考えをもつ。	4	授業中の活動 ワークシート 定期考査
2	8 自分を見つめる	少年の日の思い出 文法への扉3 さまざまな表現技法 漢字の成り立ち	・小説を読んで、語り手の視点から作品を読み取るとともに、自分の考えをもつ。	16	授業中の活動 ワークシート 定期考査

3	随筆二編 さくらはなびら	<ul style="list-style-type: none"> <li>随筆を読んで、複数の表現を結び付けて読む。</li> <li>詩を読んで、自分の考えをもつ。</li> </ul>	10	授業中の活動 ワークシート 定期考査
---	-----------------	--	----	--------------------------

計140時間 (50分授業)

#### 4 課題・提出物等

・漢字ノート、必修テキストを中心に授業の進度に応じて課題として提示します。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度
知識・技能	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	主体的に学習に取り組む態度
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、国語を尊重する姿勢が身に付ようとしている。	目的や場面に応じ、適切に話したり話し合ったりして、自分の考えを豊かにしている。	相手や目的、意図に応じ、筋道を立てて文章を書いて、自分の考えを豊かにしている。	目的や意図に応じ、様々な文章を読んだり読書に親しんだりして、自分の考えを豊かにしている。	伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やさまじり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく整えて速く書いている。
以上の観点を踏まえ、①授業の取組、②課題の提出状況などから、総合的に評価する。				

#### 6 担当者からの一言

国語の学習は「実技教科」と心得てください。「話す」「聴く」「書く」「読む」それらの活動を、授業の中で全力で取り組んで、それらができるように技術を身に付けることが大切です。受け身の態度ではなく、積極的な活動が学力の向上につながります。

(担当：高野)